

守谷ボランティア NEWS

2025年9月号（毎月1日発行）



【演奏会】MPA 親子で楽しむピアノ曲 初めてのクラシックコンサートvol.2

ピアノの先生たちが考えた、親子で楽しむコンサート。

聞いたことのあるクラシック曲や発表会人気曲をやさしい解説付きで演奏します。
「ピーターと狼」の読み聞かせはスライド、演奏と共に日本語と英語でお送りします。

- 日時 10月4日(土) 開場13:00 開演13:30
- 会場 北守谷公民館 ●定員 先着170人
- 対象 0歳～大人
- 参加費 大人 1,500円 (同伴の子どもは0～18歳で無料)
- 持ち物 必要であれば幼児席用に、ブランケットやクッション、敷物
- 申込期限 10月4日(土)までにメールから申し込む
- 主催・問合先 M P A (守谷ピアノ指導者協会)
✉ 070-7612-8991 ✉ mpa2024mpa@gmail.com



<発行> 守谷市民活動支援センター
〒302-0119 守谷市御所ヶ丘5丁目25番1
守谷市市民交流プラザ2階
電話：0297-46-3370 FAX：0297-46-3320
Email：supportcenter@moriya-cac.org
ホームページURL：<https://moriya-cac.org/>
開館時間：午前9時～午後5時（午後8時まで延長可）
休館日：月曜日、年末年始

【講座】いつしょに己書を楽しみませんか！

己書は絵を描くように文字を描いたり、絵を描いたりします。

- 日時 10月21日(火) 10:00～12:00 初めての方
11月18日(火) 10:00～12:00 2回目以降
1月13日(火) 10:00～12:00 2回目以降
- 会場 市民活動支援センター 会議室
- 持ち物 筆ペン (2回目以降の方)
- 参加費 1,000円 / 回 (材料費)
- 定員 各日 先着10人
- 申込期限 10/10(金)までに希望日を記入し、
メールかLINEで申込む
- 主催・問合先 己書もりや道場 よしだ
✉ onoresyomoriya@gmail.com



【団体紹介】ぐるり守谷 ~誰かのいらないものが誰かの必要なものになる~

小学1年生の女の子が企画した活動です。物々交換でゴミを減らし、資源を大切にする取り組みです。

地域の交流できる楽しい場にもなっています。一緒に思いやりの『わ』を広げませんか？

- お譲り交換会 2～3カ月に1回 ●場所 松並東自治会館 ※その他、地域イベントと共に開催することもあります。
- 問合先 山本 ✉ mii.19871127@gmail.com



Instagramもみてね↑

和太鼓 友「守谷和太鼓フェスタ」 関東各地から11団体が集う！迫力の太鼓演奏を体感しよう！

心を震わせる迫力の響き、仲間と奏でるリズム、和のエネルギーを存分に感じられる一日。ぜひご家族・ご友人と一緒にお楽しみください！

- 日時 10月12日(日)10:00～
- 会場 守谷駅西口駅前広場



登録団体活動情報 9月

各団体の活動予定は変更になる場合があります。事前に各問合せ先にご確認ください。

団体名	場所	活動日	問合先
大柏里山の会 谷津田の草刈り、ごみの回収	大柏下ヶ戸（元はるにわカフェ前）	第2日曜日 9:00～11:00	高木 090-1268-0269
フォトクラブ写遊 写真展、撮影会の開催	中央公民館	第4土曜日 9:00～16:00	金澤 080-5508-6081

助成金情報

* 内容は変更になる場合があります。各HPをご確認ください。

社会教育	～9/8 第19回「未来を強くする子育てプロジェクト」 住友生命保険相互会社 https://www.sumitomolife.co.jp/
社会教育	～9/12 新世紀未来創造プロジェクト 公益財団法人 JKA https://hojo.keirin-autorace.or.jp/
環境	～9/26 公園・夢プラン大賞 一般財団法人 公園財団 https://yumeplan.prjf.or.jp/caution.html

豆コラ



スウェーデントーチは、スウェーデンで古くから用いられてきた火起こしの方法で、丸太に切れ込みを入れるだけで安定した火が長時間持続します。調理や湯沸かし、暖を取るのに便利で、防災時の炊き出しにも役立ちます。炎を眺めることで心が落ち着く心理的効果があり、自然と人が集まり交流が生まれることで、孤独感の軽減にもつながります。そのため、避難所でのストレス緩和や精神的安定の助けとなります。温かい食事は生活リズムを整えやすくし、明かりと暖かさは安心感を与えてくれます。先日の防災体験イベントでは、子どもたちとマシュマロを焼き、笑顔が広がりました。避難生活に心のぬくもりを届ける、心強い防災アイテムです。



こんにちは 守谷のボランティアさん！

守谷おもちゃ病院 2025年7/24・8/21開催

@市民活動支援センター会議室

おもちゃ病院は、おもちゃの修理を通じて、子どもたちに物を大事に扱うことを教えることを2009年に設立しました。

活動内容は、持ち込まれた壊れたおもちゃを診察→分解して原因究明→修理→カルテに原因と直した箇所を記入。その日のうちに直らない場合は入院となります。名前の通り、おもちゃの病院です。

創設者は金高さん。御年90歳！現在もおもちゃ病院のドクターとして活動しています。会社を定年退職後、何かボランティアがしたいと、野木崎の子育て支援センターでスタートしました。

メンバーの経歴は様々。中学校の元教師や元企業研究者、元銀行員です。それぞれ、専門分野があるようで、「○○さんは手先が器用でぬいぐるみ系が得意」「私はデジタルソフトやラジコン、子ども用タブレットが得意」と話していました。



<おもちゃ病院のみなさん>



<代表の奥野さん>

おもちゃ病院に入ったきっかけも聞いてみました。

メンバーの鶴田さんは、もりや市民大学でおもちゃ病院の講座を聞いて参加しました。菅野さんは小さい時からラジオ修理や、物を直すことが好きだったそうです。設立当初から参加しています。



おもちゃ病院を始めたころの依頼は木製の手押し車などでしたが、今は電子機器おもちゃの修理と様変わりしているとのこと。また、親子三代にわたって遊んだおもちゃを直したときは、感慨深く感じたそうです。

センター開催は初の試み！ 小学3年生から6年生を対象に、おもちゃの分解と修理をする夏休みボランティア体験会をしました。

まずは、壊れたおもちゃを修理する前に、乾電池が使えるものかどうかテスターを使って測ります。

切れた同線を修復するために必要な技、半田ごての練習もしました。子どもたちのテンションは爆上がりノノ

次に、直したいおもちゃを選びます。戦隊もののピストルや音が鳴ったり、光ったりするおもちゃがある中、一番人気はプラレール。修理する権利をじゃんけんで勝ち取っていました(笑)



おもちゃ病院のドクター体験は本格的です。

壊れたおもちゃを分解して原因を探し、再度組み立て直し動作を確認。動くようになったらカルテに原因と直した箇所を記入して終了です。



子どもたちは「将来はこんな仕事がしたい！」などの声があり、「半田ごてなども実際に使わせてもらえてびっくりしました～」と同伴した保護者からも感嘆の声が上がっていました。

参加者にはボランティア証明書、新品のねじ回しがプレゼントされました。未来のエンジニア?! たちは大喜び♪

おもちゃを分解して、中身の構造や仕組みを知り、修理して組み立てるという普段は出来ないような機会を与えてくれたおもちゃ病院の方々に感謝します。子どもたちの将来にとって貴重な体験でした。ありがとうございました。

<守谷市民活動支援センター>